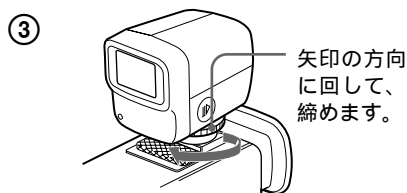
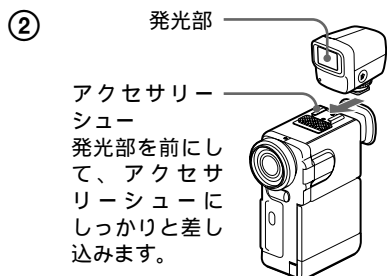
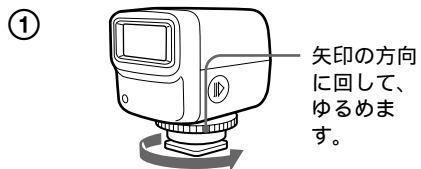


取り付けかた

1 ビデオフラッシュを、ビデオカメラのアクセサリシューに取り付ける。



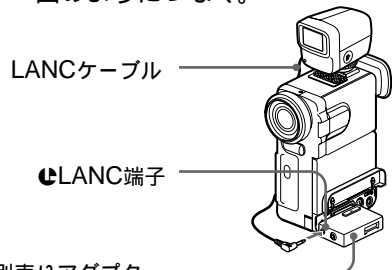
2 LANケーブルをつなぐ。

LANC端子つきビデオカメラの場合

本機からでているLANケーブルを
LANC端子につなぐ。

DCR-PC10の場合

図のようにつなぐ。

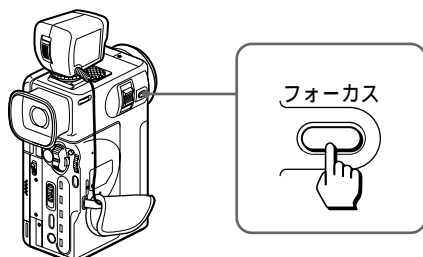


別売りアダプター
VMC-LM7

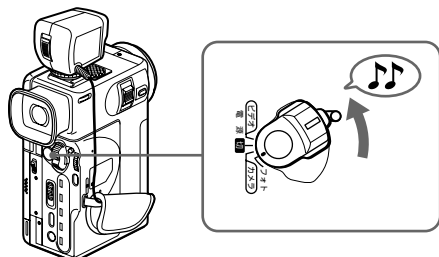
使いかた

—この説明書はDCR-PC10を例に説明しています。ビデオカメラの操作について、詳しくはお手持ちのビデオカメラの取扱説明書をご覧ください。

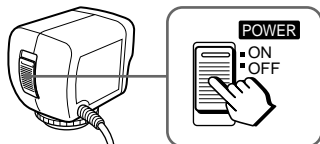
1 ビデオカメラで「撮影中」または「スタンバイ中」にフォーカスボタンを軽く1回押す。



2 ビデオカメラの緑のボタンを押しながら、電源スイッチを「フォト」にする。



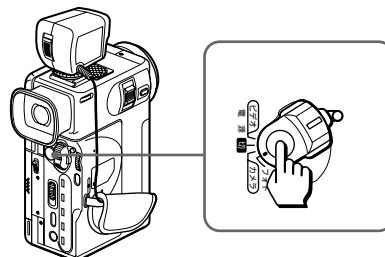
3 ビデオフラッシュのPOWERスイッチを「ON」にする。



ビデオフラッシュが、充電を開始します。充電には7秒以上かかります。充電を完了すると、ビデオカメラのファインダーや、液晶表示窓に⚡（充電完了マーク）が表示されます。

4 ビデオカメラを被写体に向け、フォーカスを合わせる。

5 ビデオカメラのスタート/ストップボタンを軽く押して、画像を確認する。
スタート/ストップボタンは軽く押したままにしておく。



フラッシュがスタート/ストップボタンに連動して発光します。

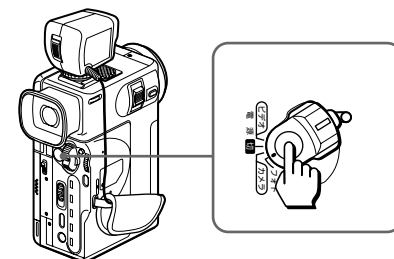
静止画がファインダーに出ます。

画像を選びなおすときは、スタート/ストップボタンを離します。スタート/ストップボタンを離すと、ビデオフラッシュは再び充電を始めます。⚡（充電完了マーク）が出てからもう1度スタート/ストップボタンを押してください。

ご注意

スタート/ストップボタンを押すと、ビデオカメラが明るさを自動調節するために、画像が暗くなった後、ビデオフラッシュが発光することがあります。

6 スタート/ストップボタンを押しながら、画像を記録する。

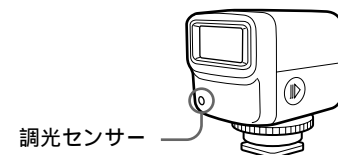


ファインダーに出ている画像が約7秒間記録されます。このとき、音声も入ります。

スタート/ストップボタンを離すと、画像の記録後、ビデオフラッシュは自動的に充電を開始します。

ご注意

- ビデオフラッシュの有効距離は約1~4mです（無段階自動調光式）。
- ご使用後は、ビデオフラッシュのPOWERスイッチを「OFF」にしてください。
- 電池が消耗すると、充電時間が長くなります。
- ビデオフラッシュが充電されたあとでも、以下の場合には、使用時に再充電されます。
 - ビデオフラッシュのPOWERスイッチを「OFF」にしたあと
 - LANケーブルをLANC端子から抜いたあと
 - ビデオカメラの電源スイッチを他のモード（「ロック」や「スタンバイ」）にしたあと
- 使用中、調光センサーを指でかくさないようご注意ください。



警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをする、感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

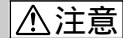
- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口で修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。



注意を促す記号

感電



行為を禁止する記号

分解禁止



感電

下記の注意を守らないと、**感電**により**大けが**の原因となります。

分解しない。

内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。

内部の点検や部品の交換はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



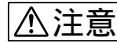
分解禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池や乾電池パックは充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。



- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

主な仕様

| | |
|-----|---|
| 大きさ | 約40×57×55.5mm（幅／高さ／奥行き） （突起部は含まず） |
| 質量 | 約90g（付属バッテリーを含む） |
| 付属品 | リチウム電池CR123A（1本） ポーチ（1個） 保証書（1部） 取扱説明書（1部） ソニーご相談窓口のご案内（1部） |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。



このマークは、ソニーのビデオ機器関連商品の純正マークです。ソニーのビデオ機器をお買い求めの際は、同じマークもしくはソニーのロゴマークがついているビデオ関連商品をお勧めします。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではビデオフラッシュの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：HVL-F10
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

故障かな? と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

| | |
|-----------------------|--|
| こんなときは | つぎのようにしてください。 |
| ⚡（充電完了マーク）が出ない。 | 電池を交換してください。リチウム電池CR123Aで約400回発光できます。 |
| ⚡（充電完了マーク）は出るが、発光しない。 | ランプを交換してください。ご自分で交換せずに、販売店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。 |

お手入れ

ビデオフラッシュをビデオカメラから取りはずし、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布でふいてから、もう一度からぶきしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

ビデオフラッシュ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HVL-F10

© 1998 by Sony Corporation Printed in Japan

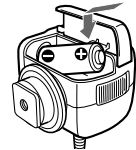
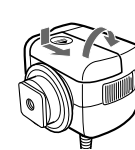
特長

夜間や暗い場所でビデオカメラのフォトモード撮影をお楽しみいただけます。自動調光機能つきですので撮影された画像が白とびしません。

電池の入れかた

電池はソニーマンガンリチウム電池CR123Aをご使用ください。それ以外では正常に動作しないことがあります。

- 1 ふたをはずす。
- 2 電池を入れる。



- 3 ふたを閉める。

